

01 地元の活性化に一役 下川淵地区郷土カルタを深堀り

市立図書館 ☎027-224-4311

市立図書館で、講演会「下川淵カルタ～下川淵カルタの活用と普及」を開催。前橋学ブックレット編集委員の根岸輝治さんが、下川淵カルタ誕生やその後の活用などを紹介します。

日時=9月27日(日)14時～15時30分

対象=一般、先着40人

申し込み=同館へ



02 赤城の恵認証品シャインマスカット オリジナルスイーツにしませんか

農政課 ☎027-898-5841

赤城の恵ブランド認証品の、あかぎおろし総研のシャインマスカットを使ったスイーツを開発する飲食店などを募集します。対象は、SNSでのPRやアンケートに協力できる市内の飲食店や菓子店など3店(選考)です。申込書は市役所農政課で配布。本市ホームページからダウンロードもできます。9月2日(水)までに同課へ申し込んでください。



03 あなた自慢の1枚を 残したい前橋の風景を募集

前橋観光コンベンション協会 ☎027-235-2211

前橋観光百景写真コンテストを開催。前橋の風景や街並み、自然、名所、文化財、祭りなどの写真を募集します。作品は、平成30年1月1日以降に撮影し、デジタル加工していない未発表の物に限ります。

部門・企画=(一般)四つ切り(ワイドタイプ不可)、A4サイズ、六つ切り、六つ切りワイドタイプ(学生)2L判かA4サイズ、1人10点まで

申し込み=9月1日(火)～10月30日(金)に郵送で。〒371-0023本町二丁目12-1・K'BIX元気21まえばし内前橋観光コンベンション協会へ



一般推薦 山本秀肇「山頂染まる」



学生推薦 宇貫航平「family」



Vol.2 前橋四公の城下町を歩く 大胡藩主牧野駿河守家

文化国際課 ☎027・898・6992

江戸時代に現在の市域内を治めた、前橋藩主の酒井雅楽頭家と松平大和守家、総社藩主の秋元越中守家、大胡藩主の牧野駿河守家。本市では、この四大名家を前橋四公と総称し、歴史イベントをとおして、市内に残る史跡や名所など、各家の魅力を発信しています。

このシリーズでは、城下町を歩いて発見できる近世前橋に四公が生きた痕跡と番外編を、全5回で紹介していきます。今回のテーマは、大胡藩主、牧野駿河守家です。

常在戦場と牧野家

1590年、大胡城2万石で入封した初代藩主・牧野康成公が城や町を整備し、現在の大胡地区の礎を築きました。戦国時代の牧野



牧野家を称える牧野氏まつり

家は今川・武田・織田らの大勢力に囲まれ、「常在戦場。常に戦場にあるの心を持つて生き、ことに処す」を家訓に、その精神を代々伝えました。

● 養林寺

鎌倉時代の御家人・大胡太郎が居館を構え、法然上人の教えを乞うたことを康成が知り、養林寺を建立し菩提寺としました。境内にある牧野家墓所には康成のほか、父成定や長岡へ移った2代成成、徳川四天王・酒井忠次の娘で評判



養林寺 本堂

だが、山門だけは現存。安土桃山時代の特色を備えた四脚門の立ち姿に、400年以上の悠久の歴史を感じられます。境内には大胡氏時代の館跡と考えられる空堀や、徳川家将軍の供養塔などもあり、見どころが満載です。

● 大胡城址

牧野家の居城で、今も大規模な城郭構造が残る大胡城址。荒砥川と風呂川に挟まれた段丘上に立地する平山城で、中心部に本丸、西に二の丸、南に三の丸と四の丸、北に北城、赤城神社を祭った近戸明神がある近戸曲輪がありました。見どころの一つは、二の丸跡にある枳形門と水の手門。荒砥川から運搬された河原石や墓石などを利



大胡城鳥瞰図

用して造られた石積みが残っています。そして、城マニア必見の巨大な土塁と空堀に囲まれた本丸跡へ登ると、城主も眺めた赤城山や荒砥川などの景色が広がります。周辺の地形を確認でき、殿様気分を味わえる眺望です。遺構だけでなく、街を歩くと目にする根小屋や足軽といった地名からも、城下町大胡の名残を発見することができます。

大胡牧野氏歴史観光ガイド

前橋市市民学芸員が養林寺、大胡城址、大胡神社、長善寺を案内します。

日時=9月13日(日)10時～12時

対象=一般、先着20人

申し込み=8月24日(月)～9月3日(木)

に文化国際課

☎027-898-6992へ